

ちょっと一言…

今年も早いもので、もう師走となりました。温暖化の影響かホワイトクリスマスは何年も経験していない気がします。クリスマスを過ぎると急ぎ足で年越しの準備。自分の年越しの恒例は、除夜の鐘つきです。かじかんだ身体を温めてくれる甘酒の美味しいこと。お寺で鐘をついて初詣でおみくじ引いて。中学生の頃からやっていた年越しの恒例は、気づけばわが子の恒例にもなっていました。ふるさとの記憶は、自然と文化と人。こうやって受け継がれていくのでしょうかね。



井内 聖
IUCHI SEI

地域プロジェクトマネージャー
子育て・教育総合専門員

11月の活動報告

- ・校長会、教頭会への参加
- ・教育委員会への参加
- ・地域学校協働本部設立準備
- ・地域学校協働本部学習会企画
- ・部活動地域移行支援
- ・タブレット持ち帰り調査
- ・地域高齢者交流支援

※令和5年度は早来地区を中心に活動します。令和6年度は追分地区を中心に活動します。

子どもにやさしいまちづくりPJ
シンポジウム

地域学校
協働本部
って何？

学校に地域って必要？

12月19日(火)18:30から

これからの地域と学校のカタチ

会場：追分公民館
会期：2023年12月19日(火)
時間：18:30～20:00
内容：地域学校協働本部って何？

全国の事例紹介
トークショー

ゲスト：志々田まなみ氏
(国立政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)
申込み：右記二次元バーコードより(当日参加も可)

参加申込み



シンポジウムQ&A

Q これって何をやるの？

A 学校協働本部とは何なのか話を聞いたり、考えたりします。

Q 誰が参加するの？

A 保護者の方、地域でスポーツや文化活動を楽しんでいる方、地域で学校に関わっている方、学校とまったく関わったことのない方。つまり誰でもOKです。もちろん子どもたちも。

Q 何でシンポジウムをするの？

A 地域学校協働本部がどんなものか、この紙面だけでは伝わりにくく、分かりづらいので知る(学ぶ)機会を設けました。

Q これって子どもにやさしいの？

A 地域学校協働本部は、子どもが多様な大人と出会うキッカケになります。子どもにやさしいまちづくりにつながります。